

平成29年度青森市指定管理者選定評価委員会会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

1 開催日時 平成29年10月18日(水) 9:00～

2 開催場所 青森市役所第2庁舎2階庁議室

3 対象施設 ユーサ浅虫

4 出席者

(1) 選定評価委員会 委員長 横内 修(市民政策部理事次長事務取扱)
副委員長 加藤 文男(総務部理事次長事務取扱)
委員 岸田 耕司(財務部次長)
外部委員 池田 亨誉(青森公立大学准教授)
外部委員 佐々木 信一(東北税理士会青森支部税理士)

(2) 施設所管課(観光課) 参事 百田 満
主幹 玉熊 康孝
主事 高坂 健

(3) 制度所管課(政策推進課) 主幹 高野 新
主事 畑井 裕樹

5 欠席者

○選定評価委員

委員 工藤 裕司(教育委員会事務局理事教育次長事務取扱)
委員 長井 道隆(都市整備部次長)

6 案件 指定管理者候補者の選定について

7 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 一般財団法人 青森市観光レクリエーション振興財団
- ・住所 青森市大字雲谷字梨野木63番地
- ・代表者 理事長 石澤 幸造

(2) 指定期間

平成30年4月1日から平成35年3月31日まで(5年間)

(3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・選定基準の個別項目採点基準（「1—d 財務の健全性」及び「4 効率性について」を除く）において普通とした点数と、「1—d 財務の健全性」における配点のうち50%に当たる点数及び「4 効率性について」の採点基準における基本点の合計点である最低得点（86点）以上の点数（117.44点）を獲得していること。
- ・「4 効率性について」を除く獲得点数の合計点が、個別項目採点基準（「1—d 財務の健全性」を除く）において普通とした点数及び「1—d 財務の健全性」における配点のうち50%に当たる点数の合計点（71.0点）以上の点数（95.40点）を獲得していること。

8 主な質疑内容

【地域や関係団体との連携】

(委員)

「浅虫温泉地域活性化の中核を担う存在として、民間、行政、金融が相互に補完しながら」という記載があるが、具体的にはどういったものか。

(施設所管課)

浅虫温泉地域の若手経営者による青森MOSPAプロジェクトとの連携のことを示しており、金融機関は地域唯一の銀行であるみちのく銀行が協定の一員になっている。

(委員)

行政はどのような関わり方をしているのか。

(施設所管課)

市・県は情報発信等で協力し、市の施設であるユーサ浅虫もプロジェクトへの協力を継続する。

【職員等の配置計画】

(委員)

団体としての当該施設の管理経験は長いが、職員個別の経験はどうか。

(施設所管課)

全体の責任者以外の各部門の責任者については、オープン当初から勤務を継続している方のため、経験については問題ない。また、正職員についても経験が長い方が多い。

【施設管理計画】

(委員)

仕様書で定める、市の水準以上の提案はあったか。

(施設所管課)

「煤煙測定業務」、「消防用設備保守点検」及び「鼠属昆虫防除業務」の3点について、市の基準以上の回数を実施するとの提案があった。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組】

(委員)

防犯カメラの設置について記載があるが、市の準備した設備ではないのか。

(施設所管課)

防犯カメラは市の準備した設備ではない。指定管理者による警備委託において用意されたものである。

【自主事業（施設の利用者等に便益を提供する業務及び地域振興を目的とした催事）】

(委員)

募集要項4ページに「自動販売機収入の売上手数料収入は、その全てを自主事業の財源として活用していただきます」との記載があるが、どの自主事業で使われているかが明記されていない。

(施設所管課)

どの事業にいくら、ということは記載されていないが、おもに収入の上がない自主事業の財源として活用されている、という解釈になる。

(委員)

自主事業「風呂の日」について、今後の利用者数が毎年増える見込みとなっているが、その実現可能性について審査できる資料、根拠はあるか。

(施設所管課)

申請資料から実績が確認できる。曜日によって結果が出にくいのが実情である。